

# 京橋朝海幼稚園園だより

## 目利きの力

園長 竹谷直史

校園庭の中心に飾られた大きなこいのぼりが気持ち良さそうに泳ぎ、日々の日差しが眩しく感じられるようになりました。そのような中、今回の大規模改修工事で新たに設置された黄色の電動オーニングが大活躍してくれています。日差しや雨をしっかりとしのぎ、子どもたちにとって快適な環境を作っています。先週には、子どもたちだけでなく、少しでも多くの方に体感していただきたいという思いで、喫茶店のオープンテラスに見立てて誕生会後の懇親会の場所としても活用いたしました。一昨年度までは、誕生会後には該当保護者の方々に「茶話会」を行い、お子さんの成長を振り返りつつ学年の卒を超えて懇親を図る機会にしていたところでしたが、実施を見合わせた昨年度を経て、今年度は形態を適宜工夫しながら実施していきます。

さて、その懇親会の話の中で、「昨年度の今頃は、まだ臨時休園期間中であったこと」が出されました。

振り返れば、昨年度の入園式は、紫陽花の中で挙行了いたしました。この度、三度目となる緊急事態宣言が出されている中ですが、同じく緊急事態宣言下であっても、不安要素だらけだった一年前と比べ、人間の叡智と努力により状況が加速度的に変化したことも感じます。

その中の一つとして、ICT機器を活用した環境整備が挙げられます。オンライン会議、リモートワークなど、一年前ではまだ未整備だった内容は今や当たり前のツールとなっており、今後も更なる進化が予想されます。

一方で、それだけでは満たされないことが浮き彫りになってきたのもまた事実です。非接触形の媒体を活用する機会が増えたからこそ、アナログ的経験の大切さを実感することも増えているのではないのでしょうか。

本園では、昨年度より教育活動の中でICT機器を活用できる可能性を拓く試みを続けていますが、それは、就学に際して先行して「機器の扱いに慣れること」にねらいを置いているものではありません。あくまでも幼児教育らしい、直接・具体的体験が更に充実し、深い学びにつなげるためにです。それには、何よりも適時適切なチョイスができるために教師のセンスを磨くことが求められます。前例がなく未知の領域ではありますが、手早く可視化ができ、多くの内容を共有したり考察を深めたりすることができる特長を生かした取り組みを、今後も続けてまいります。

時代の変化に伴って選択肢が増える一方だからこそ、それらの内容一つ一つを見極める「目利き」の大切さを感じます。ただし、それは今に始まったことではなく、例えば市場や骨董の世界において良質を見極める目利きの力が常に求められてきたことと同様に、不易の内容であるはずですが、今後、感染症の状況がどのようになるかは誰一人として分かりません。状況に応じた変更も多々生じるかと思われませんが、子どもたちが過ごす時間は常に最良のものとなるよう、鋭意取り組んでまいります。

皆様の変わらぬご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



### < 今月の学年の目標 >

- ☆ 3歳児めだか組 ・喜んで登園し、自分の好きな場や好きな遊具で遊ぶことを楽しむ。
- ☆ 4歳児いるか組 ・教師や友達と関わりながら、興味をもった遊びをすることを楽しむ。
- ☆ 5歳児かもめ組 ・友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを出したり、友達の思いに気付いたりしながら遊ぶ。

～幼稚園玄関 改築工事中！～  
現在、幼稚園玄関を改築工事しています。  
工事の間、在園児の登降園は西門からとなります。  
その他、ご入り用の方は、小学校玄関よりお入りください。